

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 5. 23

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（幡多小）

田辺（福浜小）八谷（幡多小）福井（伊島小）

先週の日曜にサイエンスフィールドから持ち帰ったヤゴが、毎朝のように我家の居間で羽化しています。羽化したトンボを見つけては「これはムギワラトンボだ、こっちはギンヤンマだ」と子供達は大喜びです。水槽に割り箸をたてておくだけで餌もいらず、とても飼育が簡単で、これは優れた教材です。

さて今回の例会は倉橋先生の独壇場でした。あまりのすごさにみんな自分の持ってきたものを翌週に回したくらいです。

【ゾウリムシ】 石浦

「ゾウリムシ」という名前は誰でも知っているけれど、どこにいて、どんな姿をしているかを自分で確かめたことのある人は決して多くはないはず。青虫のフンや野菜くずを水に入れて腐らせると表面に膜のようなもの（インフゾリア）ができる。これを顕微鏡でみたら…おお、いるいる。



【動き出す図形】 倉橋

色んな線が描かれた円盤をグルグルとゆっくり回す。これを1分間見つめておいて景色を見ると、世界がグニャグニャに…。



【補色でピカチュウ】 倉橋

全身青色でほっぺが緑色のピカチュウ1分間見つめておいて白い壁を見ると…アラ不思議！ちゃんと黄色のピカチュウが見えるんですね。ほっぺもちゃんと赤色です。

【グラスハーブ】 倉橋

水を満たしたコップの縁をこすると音のするグラスハーブ。この実験に最適なワイングラスを100円ショップで見つけて分けてくれました。斜めにすると音程が変わるよ。



【反射神経測定器】 倉橋

ものさし状の板を一人がふいに落とし、もう一人が瞬間的につかむという反射神経測定器のデザインを倉橋先生が格好よくリメイクしてくれました。売り物みたいです。

【ウッド合金・ローズ合金】 倉橋

100度以下のお湯で融ける金属を幡多小の石井先生から借りてきてくれました。う～ん、金属のイメージが…。

【身近なもので酸素の発生を】 八谷

酸素の発生実験と言えば、過酸化水素水に二酸化マンガ。これは子供にとっては非日常のもので、何が起きても不思議じゃない。しかし、消毒用のオキシドールにレバーやダイコンニンジンなどを入れて酸素を発生させれば驚きはかなり大きい。時としてローテクはハイテクに勝るのだ。ピーカーにラップを



かけ、泡がでたら線香の熱でラップに穴をあけながら入れるというやり方もたいへんいい。ダイコンを触媒にするときは、先の白い所ではなく青い首の所を使った方がいい、なんてのは経験者だから言えること。カタラーゼに含まれる鉄イオンの働きと人体中の加水分解を結びつけるアイディアも面白そう。